

こうちこどもファンド事業成果報告書(子ども用)

※この報告書は子どもたちが自分の言葉で書いてください。

令和 5 年 2 月 28 日

1 団体の名前

ふりがな	ディフェラント
団体の名前	Diff é rent

2 活動のテーマ

地域との関わり×防災

3 活動の内容

① 活動の時期	② 活動の内容
6/19	公開審査会
7月	Instagramを用いた周知活動
8・9月	企業・町内会・学校へ、アポイント
10月	チラシ・ポスター準備
11月	近隣の商業施設や町内会へ、チラシ・ポスター配布
12/17 12/18	防災イベント「こくさい ぼうさい いらっさ〜い」開催
1・2月	イベント報告のチラシ準備・報告会の準備
3/18	事業報告会

4 まちづくりの効果

活動後の感想と、自分たちが活動して、まちがどんなふうになくなったと思うか書いてください。

<感想>

今年は企業様へ協賛品を依頼したり、大学の防災団体へ協力をお願いするなどして、去年以上に様々な団体と関係を持つことができました。コロナ禍の中でもできるフースの用意や、感染対策にも気を使い、実際に地域の方を招いてイベントを開催できました。最終的には、去年よりも多い110名の方に参加していただき、当初の目標である、去年よりも大規模なイベントの開催も達成することができました。

<まちが良くなったと思うこと>

イベントでは、家族連れの方々やご年配の方まで、老若男女の様々な方が参加してくださいました。防災ポーチ・ハザードマップ・防災クイズなど、来てくださった方に、自分の好みに合うフースを体験していただくことで、私達の活動テーマや目的に関係する、地域全体での防災意識の向上に繋がったと思います。また、普段は立ち入ることのできない学校でイベントを開催したことで、いざというときに避難する場所でのような、備蓄品があるのか、対策が練られているのか実感していただけたと思います。

5 気づきポイント

活動を通して気づいたことや工夫したこと、反省点などがあれば書いてください。

<活動前にたてた目標や計画通りにできなかったところ>

イベントを行う教室を変更することになり、予定よりも準備が多くなってしまったこと

<なんでできなかったのか、何につまづいたのか>自分たちが、どの日程・どの時刻・どの教室を使いたか

<つまづいたとき、活動を進めていくためにどんな工夫をしたか、または、どうすればよかったと思うか>

学校の管理職の方へ直接お願いをしに行き、新しい教室を確保させていただきました。再度似たような失敗がないよう、担当アドバイザーの先生を介して報告書を提出するべきだと反省しました。

6 今後の展望など

今後自分たちの活動をどのように続けていきたいかなど、自由に書いてください。

私達は、今後ともこの防災に対する意識を向上させる活動を行っていきたいです。ですが、このDifférentでの活動は来年で3年目となり、翌々年のこどもファンドの制限期間やメンバーの受験も意識せざるをえなくなります。そこで、来年は防災に関する活動だけでなく、自立・引き継ぎについても考慮しながら活動を行っていきたいです。また、先月のトルゴでの大地震に対しても募金活動を行うなどといった、地域だけにとどまらず、活動の幅を広げたいとも考えています。

7活動の様子がわかる絵や写真があれば紹介してください♪



第二回
こくさい
ぼうさい
いらっさ〜い

舞台は高校。防災は体験。

場所：浜田庄美館
日時：12月17日(土)・18日(日)
14:00-17:00

QRコード

Diff é rent

令和4年度決算報告書

	収入の内容	予算額	決算額	内訳(単価・人数など)
収 入	ファンド助成金	200,000 円	200,000 円	
	合 計	200,000 円	200,000 円	

	支出の内訳	予算額	決算額	内訳(品名・単価・個数など)
支 出	印刷代(リーフレット)	60,000 円	0 円	
	印刷代(ポスター)	40,000 円	39,600 円	360円×100枚+消費税
	印刷代(ちらし)	40,000 円	61,600 円	7円×8000枚+消費税
	イベント費用	30,000 円	40,437 円	ポーチ用お菓子・布、景品用お菓子他
	雑費	30,000 円	6,210 円	名札ケース、リストバンド、郵送費等
				※内訳を記載してください。
合 計	200,000 円	147,847 円		

